

令和 7（2025）年度

東京大学大学院経済学研究科マネジメント専攻数量ファイナンスコース 修士課程学生募集要項（社会人特別選抜）補足説明書

本説明書は、令和 7（2025）年度東京大学大学院経済学研究科マネジメント専攻数量ファイナンスコース修士課程学生募集要項（社会人特別選抜）を補足するものである。

提出書類の作成及び受験に当たり必ず参照すること。

1. 本研究科の専攻領域編成と授業科目

マネジメント専攻数量ファイナンスコースは金融及びファイナンス理論の研究を主な目的とするコースである。各コースの授業科目は〔別表 1〕、各教員が開講している講義あるいは演習題目は〔別表 2〕のとおりである。

2. TOEFL 及び TOEIC のスコアについて

TOEFL 又は TOEIC のスコアのいずれかを提出する。

「TOEFL のスコア」を提出する場合

- (1) 出願時に 2023 年 2 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までに受験した TOEFL (iBT 又は iBT Home Edition。なお、受験地は問わない。所属団体等で実施する ITP は認めない。) を受験し、ETS に東京大学大学院経済学研究科宛に Institutional(Official) Score Report を送信するよう請求すること。Test Taker Score Report の提出は不要。

※ 本研究科の TOEFL の Institution Code No. : 7101 (Department Code: 99)

- (2) 出願時に願書へ Appointment Number、受験日を記入すること。
- (3) Institutional(Official) Score Report を複数回送信することは可能だが、その場合もスコアを 1 つだけ決めて、願書へ Appointment Number、受験日を記入すること。
- (4) 障害や健康上の理由により、英語の試験を受験する上で特別な配慮を必要とする場合は、予め本人から ETS の特別配慮を申請したうえで TOEFL を受験してから、出願受付期間内にスコアシート及び特別配慮が受理されたことがわかるメール等をプリントしたものを提出すること。申請・受験にかなりの時間を要することがあるので、時間に余裕をもって準備すること。

「TOEIC のスコア」を提出する場合

出願時に 2023 年 2 月 1 日から 2024 年 12 月 10 日までに日本国内で受験した TOEIC Listening & Reading Test の以下①もしくは②のいずれかを提出すること。ただし、団体特別受験制 (IP : Institutional Program) の Score Report (個人成績表) は認めない。

- ① 2023 年 2 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までに受験した場合：公式認定証 (Official Score Certificate) の原本を提出する。コピーは不可。

出願受付期間内に公式認定証を提出できない場合は、願書は受理しない。

- ② 2023 年 4 月 1 日から 2024 年 12 月 10 日までに受験した場合：デジタル公式認定証の PDF をダウンロードし、印刷したものを提出すること。スコア確認用 QR コードが付されているものに限る。

有効試験期間内に受験したが、ETS 側の問題によりスコア開示が出願に間に合わない場合には、
9. その他 (5) 問い合わせ先に連絡すること。

障害や健康上の理由により、TOEIC を受験する上で特別な配慮を必要とする場合は、予め本人から TOEIC のプライオリティサポートを申請したうえで TOEIC を受験してから、出願受付期間内に公式認定証及び特別配慮が受理されたことがわかるメール等をプリントしたものを提出すること。申請・受験にかなりの時間を要することがあるので、時間に余裕をもって準備すること。

3. 成績証明書及び卒業（見込）証明書について

- (1) 出身（在学）大学が発行したものとする。（コピーは不可）

なお、成績証明書は、出身（在学）大学が発行したもののほか、大学（大学院）において単位を取得した科目の内、特に、金融工学、数理ファイナンス及び、微積分・線形代数、確率、統計等数理系科目の科目名、成績、単位取得年次を記した一覧表を作成して添付すること。

一覧表は以下 URL よりダウンロードすること。

<https://www.student.e.u-tokyo.ac.jp/grad/masichiran.xlsx>

- (2) 日本語又は英語以外の言語を使用している場合は、原本及びその日本語訳を提出すること。
- (3) 編入学等をした場合は、編入学前の出身大学の成績証明書を含む大学学部在学中のすべての成績証明書の提出が必要である。（大学を退学して別の大学に入学し、卒業（見込）した場合、退学をした大学分の成績証明書も必要である）
- (4) 卒業証明書が原本しかなく、提出用の証明書が発行できない場合は、確認の後、返却するので、返信用の封筒と切手を同封し原本を郵送すること。
- (5) 外国の大学を卒業した場合（卒業見込み含む）は、取得学位が記載された卒業（見込）証明書を提出すること。卒業証明書に取得学位が記載されていない場合は、学位取得証明書もあわせて提出すること。外国の大学を卒業し（卒業見込み含む）、高等学校卒業までの学校教育が 12 年に満たない場合は、該当の学校又は教育委員会が発行した飛び級証明書を提出すること。
- (6) 既に修士の学位を取得している場合（取得見込み含む）は、修士課程の成績証明書も提出すること。
- (7) 留学先大学等で履修した授業の単位が出身（在学）大学における単位として認定されている場合は、認定された総単位数だけでなく、その授業の留学先大学等における評価（優、良、可など）のわかる証明書を提出すること。短期留学（1 年以内）の場合は、留学先大学が発行した成績証明書はコピーでもよい。
- (8) 本学卒業者は、学部（後期課程）の成績証明書及び教養学部（前期課程）の成績証明書を提出すること。

4. 研究計画書について

- (1) A4 判の用紙を使用し、最初のページの冒頭に、「研究計画書」と明記し、氏名、研究テーマ（30 字以内、英語の場合は 15words 以内）を記載すること。
- (2) 前半部分で日本語の場合は 3,000 字程度、英語の場合はダブルスペースで 3 ページ程度、研究の背景や問題意識、具体的な研究テーマ等について説明すること。現在の職務内容から導かれる問題、関心などを書いてよい。後半部分で日本語の場合は 7,000 字程度、英語の場合はダブルスペースで 7 ページ程度、数量ファイナンスに関連して学習していることについてまとめること。
- (3) 両面印刷のうえ、用紙の左上を 1 部ずつホチキスで留めること。

- (4) 同一の研究計画書を3部提出すること。

5. 推薦書について

推薦書は提出することが望ましいが、その提出は任意とする。募集要項掲載の作成見本を参照のうえ作成してもらうこと。

6. 参考業績について

- (1) 参考業績として、未発表のものも含めた著書、論文（卒業論文、演習論文又はそれに準ずる論文等）、調査・報告書、学会報告を提出することができる。
- (2) 日本語又は英語以外の外国語で記述された参考業績については、日本語（A4判の用紙で800字以内）又は英語（A4判の用紙でダブルスペース1枚以内）の要約を添付して提出すること。
- (3) 参考業績を提出する場合は、参考業績のタイトル、発表時期、既発表・未発表の別等を発表時期順に記載した「参考業績リスト（ホームページ掲載の作成見本参照）」を作成し、氏名を記載して、参考業績と併せて提出すること。
- (4) 各参考業績の表紙にそれぞれ氏名を記入すること。
- (5) 参考業績は、「写し」で差し支えない。

7. 外国人出願者への注意

「日本語能力試験 N1 合格の証明書」について

〔日本の高校、大学（大学院）を卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者、又は、日本に永住許可を得ている者（特別永住者を含む）は提出不要。ただし、提出不要とする根拠資料を提出すること。例えば、日本の高校の卒業証明書、在留カードの写し 等。〕

公益財団法人日本国際教育支援協会及び国際交流基金が実施している日本語能力試験 N1 レベル（1級）の合否結果通知書の写し又は N1 レベル（1級）合格を証明した日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書の写しを提出すること。N1 レベル（1級）の日本語能力認定証の写しのみではなく、成績も提出すること。出願受付期間内に提出できない場合は、願書は受理しない。

なお、上記以外の証明書による日本語学力の証明は認めない。

8. 長期履修学生制度について

「長期履修学生制度」とは、職業を有している等の事情により、標準修業年限内では、大学院の教育課程の履修が困難であると認められる者に限り、標準修業年限を超えて計画的な履修を立てることができる制度である。

修士課程においては、標準修業年限2年を、3年又は4年として、計画的に履修することができる。

この制度では、標準修業年限の授業料の総額を長期履修期間として認められた年数で支払うことになる。例えば、修士課程において3年間の長期履修が認められた場合、2年分の授業料の総額を3年で除した額が授業料の年額となる。

なお、この制度を利用するには、入学手続き時に申請が必要である。

9. その他

- (1) 海外居住者の出願方法について

出願時において、海外に居住している者であっても、返信用封筒には日本国内の住所を記入すること。指示を守らずに出願した場合は受理しない。

- (2) 官公庁、企業、団体等に在職のまま大学院に入学する者は、定められたカリキュラムに従って学業に従事できるよう、勤務先から「大学院に入学すること」の承諾を得ること。ただし、「承諾書」の提出は任意である。なお、長期履修制度を活用する等、柔軟な運用がされており、仕事を続けながら履修することは十分に可能である。
- (3) 留学生の場合、ビザの関係上、入学手続きの際に、「大学院に入学すること」の勤務先の長の承諾書の提出を求めることがある。また、留学生でなくても、本人の希望により、上記承諾書を提出してもよい。
- (4) 口述試験受験資格者の発表は、本研究科 HP で掲示する。詳細については出願者に連絡する。
- (5) その他出願に際して不明な点等があれば、教務チーム大学院担当に問い合わせること。

問い合わせ先 東京大学大学院経済学研究科事務部教務チーム大学院担当

E-mail : gradinfo@e.u-tokyo.ac.jp

[別表 1] 大学院経済学研究科修士課程授業科目表

[別表 2] 令和 5 年度・令和 6 年度開講科目一覧

大学院経済学研究科修士課程授業科目表

経済専攻			マネジメント専攻		
共 通	経 済 学	統 計 学	経 営 学		数量ファイナンス
経済原論	メカニズムデザイン	経済統計	企業会計	経営学ワークショップⅠ	上級デリバティブⅠ
経済学方法論	ミクロ経済学特論	経営統計	経営管理Ⅱ	経営学ワークショップⅡ	上級デリバティブⅡ
政治経済学	マクロ経済学特論	数理統計特論	経営戦略Ⅱ	財務・会計ワークショップⅠ	実証ファイナンス
ミクロ経済学Ⅰ	数理経済学	計量経済特論	経営史Ⅱ	財務・会計ワークショップⅡ	数量ファイナンスⅠ
ミクロ経済学Ⅱ	ミクロ経済学ワークショップⅠ	統計学輪講	グローバルベンチャリングⅡ	社内イノベーターワークショップ	上級デリバティブ演習Ⅰ
マクロ経済学Ⅰ	ミクロ経済学ワークショップⅡ	統計学演習	雇用システムⅡ	経営学特論	数量ファイナンスⅡ
マクロ経済学Ⅱ	マクロ経済学ワークショップⅠ	論文指導（修士）	フード・システムⅡ	会計学特論	上級デリバティブ演習Ⅱ
経済学のための数学	マクロ経済学ワークショップⅡ	特別論文指導	経営科学Ⅱ	社内イノベーター特論	保険数理Ⅰ
計量経済学Ⅰ	理論経済学特論	地域研究	生産システムⅡ	経営学演習	保険数理Ⅱ
計量経済学Ⅱ	経済理論演習		日本経営史Ⅱ	会計学演習	保険数理Ⅲ
基礎数理統計Ⅰ	金融政策	経済学史	国際経営Ⅱ	社内イノベーター演習	インベストメント
基礎数理統計Ⅱ	金融システム論	社会・経済思想	マーケティングⅡ	論文指導（修士）	経営財務Ⅱ
統計的推測理論Ⅰ	現代財政Ⅰ	経済原論特論	技術経営Ⅱ	特別論文指導	企業会計
統計的推測理論Ⅱ	現代財政Ⅱ	経済学方法論特論	ICTマネジメントⅡ		数量ファイナンスとデリバティブ
応用統計Ⅰ	財政理論	アジア経済	財務会計Ⅱ		財務会計Ⅱ
応用統計Ⅱ	公共経済	中国経済	管理会計Ⅱ		管理会計Ⅱ
測度論的確率論Ⅰ	開発経済	経済発展	経営財務Ⅱ		コーポレート・ガバナンス
測度論的確率論Ⅱ	国際貿易	国際経済特論	インベストメント		資産流動化と不動産ファイナンス
世界経済Ⅰ	国際金融	現代経済演習	実証ファイナンス		企業財務戦略
世界経済Ⅱ	産業経済	論文指導（修士）	上級デリバティブⅠ		金融機関のリスク管理
財政	労働経済	特別論文指導	ビジネスエコノミクス		会計学演習
日本経済史Ⅰ	都市経済	経 済 史	フィールドリサーチ方法論		会計学特論
日本経済史Ⅱ	ビジネスエコノミクス		経営学研究法		管理会計研究
欧米経済史Ⅰ	応用計量経済	近代欧米経済史	経営管理研究		財務会計研究
欧米経済史Ⅱ	現代金融特論	現代欧米経済史	経営戦略研究		財務・会計ワークショップⅠ
アジア経済史	現代財政特論	近代日本経済史	雇用システム研究		財務・会計ワークショップⅡ
	国際経済特論	現代日本経済史	雇用労働研究		アクチュアリーワークショップⅠ
	産業経済特論	欧米経済史文献・資料研究	フード・システム研究		アクチュアリーワークショップⅡ
	労働経済特論	アジア経済史文献・資料研究	生産システム研究		ファイナンスのための確率Ⅰ
	現代日本経済特論	日本経済史文献・資料研究	経営史研究		ファイナンスのための確率Ⅱ
	経済学演習	比較経済史特論	国際経営研究		数量ファイナンス特論
	論文指導（修士）	経済政策史特論	マーケティング研究		論文指導（修士）
	特別論文指導	産業史特論	技術経営研究		特別論文指導
		経済思想史特論	管理会計研究		
		経済史演習	財務会計研究		
		論文指導（修士）	経営組織研究		
		特別論文指導			

令和 5 年度・令和 6 年度開講科目一覧

経済専攻

経済学コース

担当教員		所 属	講義・演習題目	
職 名	氏 名		令和 5 年	令和 6 年
教 授	青木 浩介	経 済	Recent developments in macroeconomics: theory and empirics、金融政策	マクロ経済学Ⅰ、マクロ経済学ワークショップⅠ、マクロ経済学ワークショップⅡ、金融政策
教 授	飯塚 敏晃	経 済	医療市場の実証分析	医療市場の実証分析
教 授	岩本 康志	経 済	Economic Analysis of Pandemics、財政理論	Economic Analysis of Pandemics
教 授	植田 健一	経 済	Macro Contract Theory and Empirics、Development Economics: Macroeconomic Approach、International Finance I	Macro Contract Theory and Empirics、International Finance I、International Finance II、政策・ビジネスのためのデータ分析
教 授	大橋 弘	経 済	－	－
教 授	小川 光	経 済	租税競争の理論	－
教 授	尾山 大輔	経 済	Game Theory I、Mathematical Economics、数学Ⅱ	経済学のための数学、Topics in Economic Theory、数学Ⅱ
教 授	川合 慶	経 済	－	Industrial Organization III
教 授	川口 大司	経 済	政策・ビジネスのためのデータ分析、Labor Economics II	Labor Economics II
教 授	神取 道宏	経 済	ミクロ経済学Ⅱ、Advances in Economic Theory	Advances in Economic Theory
教 授	小島 武仁	経 済	Introduction to Matching Theory and Market Design、Advanced Topics in Matching Theory and Market Design	ミクロ経済学Ⅱ、Introduction to Matching Theory and Market Design
教 授	佐藤 泰裕	経 済	－	地域経済
教 授	澤田 康幸	経 済	Foundations of Development Economics	Foundations of Development Economics
教 授	新谷 元嗣	経 済	Advanced Time Series Analysis(上級時系列分析)、Empirical analysis of dynamic macroeconomic models、Recent developments in macroeconomics: theory and empirics	マクロ経済学Ⅰ、Advanced Time Series Analysis(上級時系列分析)、Empirical Analysis of Dynamic Macroeconomic Models
教 授	高崎 善人	経 済	Development Economics: Microeconomic Approach	Advanced Development Microeconomics、Development Economics: Microeconomic Approach、Environmental Economics
教 授	高橋 悟	経 済	Game Theory II、Probability Theory and Applications to Economic Theory	Probability Theory and Applications to Economic Theory
教 授	中嶋 智之	経 済	Topics in Macroeconomic Theory、Readings in Macroeconomic Theory	Topics in Macroeconomic Theory
教 授	楡井 誠	経 済	Macroeconomic Dynamics、Readings in Macroeconomic Theory	Macroeconomic Dynamics
教 授	林 正義	経 済	現代財政Ⅱ、政府間財政、演習：地方財政の実証分析	現代財政Ⅰ、現代財政Ⅱ、演習：地方財政の実証分析
教 授	肥後 雅博	経 済	応用経済統計、マクロ金融経済学のリカレント教育Ⅰ、マクロ金融経済学のリカレント教育Ⅱ	応用経済統計、マクロ金融経済学のリカレント教育Ⅰ、マクロ金融経済学のリカレント教育Ⅱ
教 授	福田 慎一	経 済	マクロ金融経済学のリカレント教育Ⅰ、マクロ金融経済学のリカレント教育Ⅱ	マクロ金融経済学のリカレント教育Ⅰ、マクロ金融経済学のリカレント教育Ⅱ
教 授	古澤 泰治	経 済	International Trade II	International Trade II
教 授	星 岳雄	経 済	Financial System I	Financial System I
教 授	松井 彰彦	経 済	ミクロ経済学Ⅰ、経済学のための数学	ミクロ経済学Ⅰ
教 授	松島 斉	経 済	メカニズムデザイン	メカニズムデザイン
教 授	柳川 範之	経 済	ビジネスエコノミクス	ビジネスエコノミクス
教 授	山口 慎太郎	経 済	労働経済Ⅰ、労働経済Ⅱ、Topics in Labor Economics	労働経済Ⅰ、Economics of the Family

教 授	渡辺 努	経 済	インフレーションと金融政策	インフレーションと金融政策
教 授	渡邊 安虎	経 済	Political Economics、Topics in Political Economics	Political Economics、Topics in Political Economics
教授	石原 章史	社 研	Economics of Contracts and Organizations	Economics of Contracts and Organizations
教 授	加藤 晋	社 研	An Introduction to Social Choice Theory	An Introduction to Social Choice Theory
教 授	近藤 絢子	社 研	Labor Economics I	Labor Economics I
教 授	佐々木 弾	社 研	ミクロ経済政策演習	ミクロ経済政策演習
教 授	庄 司 匡宏	社 研	ミクロ経済学ワークショップⅠ、ミクロ経済学ワークショップⅡ、Interdisciplinary Issues in Development Economics	Interdisciplinary Issues in Development Economics
教 授	田中 隆一	社 研	教育経済学	教育経済学
教 授	松村 敏弘	社 研	寡占理論	寡占理論
教 授	杉山 正和	先端研	グリーンエネルギー論	グリーンエネルギー論
教 授	CHEN, Stacey	公 共	Contemporary Issues in Development Economics	Contemporary Issues in Development Economics
教 授	高橋 孝明	空 間	都市経済政策	都市経済政策
准教授	GRIFFEN, Andrew S.	経 済	Empirical Microeconomics、R for Empirical Economics Research	Empirical Microeconomics、R for Empirical Economics Research
准教授	田中 万理	経 済	－	Topics in Labor Economics Regarding Firms and Productivity
准教授	仲田 泰祐	経 済	マクロ経済学ワークショップⅠ、マクロ経済学ワークショップⅡ、Economic Analysis of Pandemics	マクロ経済学ワークショップⅠ、マクロ経済学ワークショップⅡ、Economic Analysis of Pandemics
准教授	WEESE, Eric	社 研	Political Economics、Topics in Political Economics	Political Economics、Topics in Political Economics
准教授	岡地 迪尚	総 合	－	－
准教授	川田 恵介	社 研	機械学習の実証経済学への応用	機械学習の実証経済学への応用
講 師	萱場 豊	経 済	－	－
講 師	坂口 翔政	経 済	Machine Learning for Economics	Machine Learning for Economics
講 師	佐々木 優	経 済	Historical Political Economy	Historical Political Economy
講 師	SON Suk Joon	経 済	ミクロ経済学ワークショップⅠ、ミクロ経済学ワークショップⅡ、Discrete Choice Models、Applied Econometrics、Topics in Empirical Microeconomics	ミクロ実証ワークショップⅠ、ミクロ実証ワークショップⅡ、Discrete Choice Models、Topics in Empirical Microeconomics
講 師	高木 悠貴	経 済	－	－
講 師	野田 俊也	経 済	ミクロ経済学ワークショップⅠ、ミクロ経済学ワークショップⅡ、Topics in Market Design	ミクロ理論ワークショップⅠ、ミクロ理論ワークショップⅡ
講 師	LOU Yichuan	経 済	ミクロ経済学ワークショップⅠ、ミクロ経済学ワークショップⅡ、Introduction to Persuasion and Information Design、Information Acquisition and Disclosure in Mechanism Design、Essential Academic Skills	Introduction to Persuasion and Information Design、Information Acquisition and Disclosure in Mechanism Design、Essential Academic Skills
講 師	大津 優貴	空 間	都市経済政策	都市経済政策

統計学コース

担当教員		所 属	講義・演習題目	
職 名	氏 名		令和5年	令和6年
教 授	大森 裕浩	経 済	数学Ⅰ、ベイズ統計学Ⅰ、ベイズ統計学Ⅱ、統計学輪講、応用統計ワークショップ	ベイズ統計学入門、ベイズ統計学Ⅰ、ベイズ統計学Ⅱ、統計学輪講、応用統計ワークショップ
教 授	奥井 亮	経 済	計量経済学Ⅰ、因果推論、パネルデータ分析、統計学輪講、応用統計ワークショップ	計量経済学Ⅱ、統計学輪講、応用統計ワークショップ
教 授	久保川 達也	経 済	統計的推測理論Ⅰ、統計学輪講、応用統計ワークショップ	統計的推測理論Ⅰ、統計的推測理論Ⅱ、統計学輪講、応用統計ワークショップ
教 授	下津 克己	経 済	Topics in Econometrics、統計学輪講、応用統計ワークショップ	計量経済学Ⅰ、多変量解析、Topics in Econometrics、統計学輪講、応用統計ワークショップ
教 授	倉田 博史	総 合	統計学各論、統計学輪講、応用統計ワークショップ	統計学各論、統計学輪講、応用統計ワークショップ
准教授	入江 薫	経 済	統計的推測理論Ⅱ、統計学輪講、応用統計ワークショップ	数学Ⅰ、ベイズ統計学特論、統計学輪講、応用統計ワークショップ

准教授	今泉 允聡	総 合	統計学輪講、応用統計ワークショップ	統計学輪講、応用統計ワークショップ
准教授	栗栖 大輔	空 間	高次元統計分析、統計学輪講、応用統計ワークショップ	高次元統計分析、統計学輪講、応用統計ワークショップ
講 師	明石 郁哉	経 済	測度論的確率論Ⅰ、測度論的確率論Ⅱ、統計学輪講、応用統計ワークショップ	測度論的確率論Ⅰ、測度論的確率論Ⅱ、統計学輪講、応用統計ワークショップ
	統計学全教員		統計学輪講、応用統計ワークショップ	統計学輪講、応用統計ワークショップ

地域研究コース

担当教員		所 属	講義・演習題目	
職 名	氏 名		令和5年	令和6年
教 授	丸川 知雄	社 研	世界経済Ⅰ、世界経済Ⅱ、中国経済、地域研究ワークショップⅠ、地域研究ワークショップⅡ	世界経済Ⅰ、世界経済Ⅱ、Chinese Economy、地域研究ワークショップⅠ、地域研究ワークショップⅡ
教 授	青山 和佳	東文研	－	－
准教授	野原 慎司	経 済	世界経済Ⅰ、経済学史、社会・経済思想、地域研究ワークショップⅠ、地域研究ワークショップⅡ	－
准教授	伊藤 亜聖	社 研	世界経済Ⅱ	Text Analysis for Economics and Area Studies、世界経済Ⅱ

経済史コース

担当教員		所 属	講義・演習題目	
職 名	氏 名		令和5年	令和6年
教 授	石原 俊時	経 済	欧米経済史Ⅱ、現代西洋経済史の諸問題	欧米経済史Ⅰ、現代西洋経済史の諸問題
教 授	城山 智子	経 済	アジア経済史の課題と方法	アジア経済史の課題と方法、経済史研究会Ⅰ、経済史研究会Ⅱ
教 授	谷本 雅之	経 済	近代日本経済史の諸問題、経済史研究会Ⅰ、経済史研究会Ⅱ	近代日本経済史の諸問題
教 授	中林 真幸	社 研	Institutional Analysis of Japanese EconomyⅠ、Institutional Analysis of Japanese EconomyⅡ	日本経済史Ⅰ、日本経済史Ⅱ
教 授	中村 尚史	社 研	経済史研究の課題と方法、経済史研究会Ⅰ、経済史研究会Ⅱ	企業と産業の経済史、経済史研究の課題と方法
准教授	今泉 飛鳥	経 済	－	近現代日本の社会と経済活動
准教授	小島 庸平	経 済	日本経済史Ⅱ	近現代日本経済史演習、経済史研究会Ⅰ、経済史研究会Ⅱ
准教授	森本 真世	社 研	日本経済史Ⅰ、近代日本の労働と組織	近代日本の労働と組織、近代日本における技能形成

マネジメント専攻

経営学コース

担当教員		所 属	講義・演習題目	
職 名	氏 名		令和5年	令和6年
教 授	阿部 誠	経 済	マーケティング・サイエンス、経営学研究法	マーケティングⅡ、マーケティング・サイエンス、経営学ワークショップⅠ、経営学ワークショップⅡ、経営学研究法
教 授	大日方 隆	経 済	企業会計の基礎、財務会計Ⅱ、会計情報と企業評価、財務・会計ワークショップⅠ、財務・会計ワークショップⅡ、経営学研究法	企業会計の基礎、会計情報と企業評価、財務・会計ワークショップⅠ、財務・会計ワークショップⅡ
教 授	粕谷 誠	経 済	日本経営史Ⅱ、経営学ワークショップⅠ、経営学ワークショップⅡ、経営史入門、金融史、経営学研究法	日本経営史Ⅱ、経営学ワークショップⅠ、経営学ワークショップⅡ、経営史入門、金融史、経営学研究法
教 授	藤岡 里圭	経 済	－	経営学ワークショップⅠ、経営学ワークショップⅡ、現代日本流通史、日本経営史の諸問題、経営学研究法
教 授	米山 正樹	経 済	会計規制と財務報告制度、財務・会計ワークショップⅠ、財務・会計ワークショップⅡ、会計情報システム、経営学研究法	財務会計Ⅱ、会計規制と財務報告制度、財務・会計ワークショップⅠ、財務・会計ワークショップⅡ、会計情報システム

教 授	玄田 有史	社 研	雇用システム研究、経営学ワークショップⅠ、経営学ワークショップⅡ、経営学研究法	雇用システム研究、経営学ワークショップⅠ、経営学ワークショップⅡ、経営学研究法
教 授	清水 剛	総 合	経営学のための統計分析、経営学研究法	経営学研究法
准教授	稲水 伸行	経 済	経営科学Ⅱ、経営学文献講読Ⅰ、経営学文献講読Ⅱ、経営組織研究、経営学ワークショップⅠ、経営学ワークショップⅡ、経営学研究法	経営学文献講読、経営学ワークショップⅠ、経営学研究法
准教授	大木 清弘	経 済	国際経営Ⅱ、経営学文献講読Ⅰ、経営学文献講読Ⅱ、国際経営研究、経営学ワークショップⅠ、経営学ワークショップⅡ、経営学研究法	国際経営Ⅱ、経営学文献講読、国際経営研究、経営学ワークショップⅠ、経営学ワークショップⅡ、経営学研究法
准教授	桑嶋 健一	経 済	技術経営Ⅱ、技術経営研究、経営学ワークショップⅠ、経営学ワークショップⅡ、経営学研究法	技術経営Ⅱ、技術経営研究、経営学ワークショップⅠ、経営学ワークショップⅡ、経営学研究法
准教授	首藤 昭信	経 済	管理会計Ⅱ、財務・会計ワークショップⅠ、財務報告研究、経営学研究法	実証会計理論、財務・会計ワークショップⅡ
准教授	山本 浩司	経 済	経営史Ⅱ、経営史研究、経営学ワークショップⅠ、経営学ワークショップⅡ、経営学研究法	経営史Ⅱ、経営史研究、経営学ワークショップⅠ、経営学ワークショップⅡ、経営学研究法
准教授	舟津 昌平	経 済	－	経営管理Ⅱ、経営管理研究、経営学ワークショップⅠ、経営学ワークショップⅡ、経営学研究法
講 師	元木 康介	経 済	フードシステムⅡ、消費者行動研究、経営学ワークショップⅠ、経営学ワークショップⅡ、経営学研究法	フードシステムⅡ、消費者行動研究、経営学ワークショップⅠ、経営学ワークショップⅡ、経営学研究法

数量ファイナンスコース

担当教員		所 属	講義・演習題目	
職 名	氏 名		令和５年	令和６年
教 授	高橋 明彦	経 済	経営財務Ⅱ、数量ファイナンスの基礎Ⅲ、数量ファイナンスの基礎Ⅳ	経営財務Ⅱ、数量ファイナンスの基礎Ⅰ、数量ファイナンスの基礎Ⅱ
准教授	佐藤 整尚	経 済	数量ファイナンスの基礎Ⅰ、数量ファイナンスの基礎Ⅱ	数量ファイナンスの基礎Ⅲ、数量ファイナンスの基礎Ⅳ
准教授	白谷健一郎	経 済	上級デリバティブ演習Ⅱ、上級プログラミング	上級デリバティブ演習Ⅱ、上級プログラミング
准教授	藤井 優成	経 済	上級デリバティブⅡ、上級デリバティブ演習Ⅰ、金融工学基礎	上級デリバティブⅡ、上級デリバティブ演習Ⅰ、金融工学基礎

〔注〕 経 済 ：経済学研究科
 公 共 ：公共政策学教育部
 社 研 ：社会科学研究所
 東文研 ：東洋文化研究所
 総 合 ：総合文化研究科
 工 学 ：工学系研究科
 空 間 ：空間情報科学研究センター

*** ミクロ・マクロ経済学、計量経済学をはじめ一部の授業科目は英語で行われている。**